

変異株感染者 1200人に

専門家「今後も拡大予想」

厚労省集計

感染力がより強いとされる新型コロナウイルスの変異株の感染者が、30日までに1200人に達したこと

が、厚生労働省の集計でわかった。前週より408人が増え、増加のペースは上がっている。厚労省の専門家組織は31日、「今後も感染

が増え、PCR検査で陽性となり、感染者情報を管理するシステム「HER-SYS」に登録された人数。この人数とは別に、厚労省が自治体の検査状況を集計したデータによると、変異株のPCR検査は15~21日に全国で2376件実施され、陽性は前週の2倍の382人。兵庫県の128人が最も多く、北海道、大阪府などの上位5道府県で全体の8割

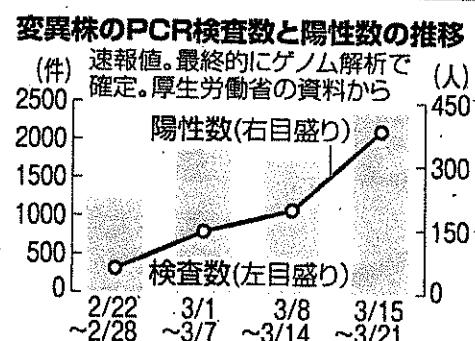
を占めた。

都道府県はこれまで、新型コロナの感染が確認された人の5~10%をめどに、PCR検査で変異株かどうか調べてきた。政府はこの割合を40%に高める方針だ。PCR検査で陽性の場合、ゲノム解析で確定した人を年代別で見ると、40代が16%で最多。一方、10歳未満が12%、10代が11%と、子どもも比較的多かった。

国内ではこれまで、新型コロナの感染者に占める10歳未満の割合は3%、10代も7%ほどだった。

厚労省が公表した変異株の複数の飲食店でクラスター（感染者集団）が生じ、20人以上が感染している。札幌市のスナックでは40人以上の従業員と利用客5人が感染。全員が変異株とみられている。

東京慈恵会医科大学の浦島充佳教授（予防医学）は、感染力が強くなると、感染者の増え方も変わるとして、「変異株の割合がいま少なくとも、ある値を超えると、あつという間に『うなぎ登り』に広がる」と懸念する。「改めて、一人一人の行動変容を徹底する必



変異株は地方での拡大も目立つ。松山市では繁華街の複数の飲食店でクラスター（感染者集団）が生じ、20人以上が感染している。札幌市のスナックでは40人以上の従業員と利用客5人が感染。全員が変異株とみられている。